

# 心 KP ニュースレター

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

Vol.4 2023.3

こんにちは！春ももうすぐそこまで🌸  
2022年12月から2023年2月のKPの活動をご報告します。

2/12 神奈川県人権啓発推進会議  
『人権メッセージ展』にポスター出展しました



KP 神奈川精神医療人権センター

精神疾患のこと、精神医療のこと、  
もっと多くの人に知ってもらいたい。  
当事者も、家族も、支援者も、医療者も、  
一緒になって権利擁護に取り組んでいく  
世の中になりますように。

写真は相談を受けている事務所です。

1月26日(木) 日本弁護士連合会主催

『～障害者権利条約から～精神障害のある人の未来をひらく集い』が開催され、ダニウス・プラス氏(元・国連健康の権利特別報告者、精神科医)による基調講演「到達可能な最高水準の心身の健康の権利に関する国連特別報告官報告と、日本におけるロードマップ立案及び実施の必要性」が行われました。会場 150名、オンライン 550名の参加がありました。

KPの堀合悠一郎副会長が「私たちが目指す精神保健福祉体制とは」のテーマのパネルディスカッションに登壇しました。

堀合副会長は、隔離収容の文化が生み出してきたスティグマのこと、非自発的入院における患者の不安や恐怖、やむなく入院させる家族の想いをくみ取り、速やかで手厚いケアにより安心した環境で治療を提供してほしいと述べ、責任の所在が曖昧なまま処遇される医療保護入院制度の在り方を問いました。

「本人のリカバリーのためには、強制入院を優先することではなく、本人をはじめ、家族、精神保健医療福祉関係者(医師、看護師や作業療法士、ソーシャルワーカー、ピアサポーター等)の協働による地域ぐるみでの支援が必要かつ有効であり、それが本来あるべき精神医療の形だと思います。今日ここでの議論があるべき精神医療の形についての実践的な議論、そして行動を広げる一助になることを願います。」

## 速報！ 3月6日KP定例会にて『滝山病院』事件について42名の緊急集会

この日、KP定例会には会場27名、オンライン15名の総勢42名(当事者、家族、市民、専門職、報道など)が参加。NHK青山ディレクターもオンラインで参加し、事件の概要を改めて確認し激論を交わしました。この事件では、看護師ら4人が患者に暴行したとする告発状を警視庁が受理。2月14日、男性看護師1名が暴行容疑で逮捕されました。相原啓介弁護士による会見では被害状況はこれに留まらない状況とのこと、警視庁による捜査、東京都による立ち入り検査が行われています。2月25日にはNHK特集『ルポ 死亡退院』でも大きく報じられました。事件を受けて、東京都内では、専門職らにより患者支援のための「滝山病院退院支援連絡会」が発足したことなどが報じられています。

精神科医療機関での内情が、こうした暴力事件や告発報道という形でしか表に出ないことへの懸念、閉鎖された組織環境での風土の恐ろしさ、精神科特例や精神科差別について、行政や一般医療、地域や家族が民間病院に丸投げしてきたことへの責任を問うもの、社会や制度全体の問題、もっと一般の人に関心を寄せてほしい、当事者として合併症も含めて安心して診てもらえる医療機関が今後あるのか不安、自分ごととして共同意思決定や説明を求め主張していかねばならない等、意見が出ました。引き続き、捜査や調査の進捗を見守ると共に、私たちKPに今出来ることとして、精神科医療機関や関係機関とのネットワーク、病院への訪問、入院者らの相談、権利擁護活動を進めていきたいと話し

## 2022年度の630調査開示請求について>>>

全国の精神科に関わる医療機関のデータを調べている630調査について、今年度分の調査結果の情報公開を2月12日に神奈川県に対して請求しました。

昨年度の630調査をもとに発行したデータブック「どこに行けばいいの？」は、驚くほどの反響をいただき、増刷を重ねています。630調査のデータをめぐっては、KPとして初めて情報公開請求した一昨年、神奈川県は全面非公開という頑なな姿勢だったのですが、その後の度重なる文書のやり取りの結果、全面公開にまで漕ぎつけ、あの冊子の発行となりました。今年度も全面公開の姿勢に変わりないものと思われ、これからは公開されたデータをどう活用していくかが問われることとなります。今、問題になっている八王子の滝山病院も、630調査項目の一つである死亡退院率が異常に高い(2019年のデータでは100%!)ことで以前から疑惑を持たれていたということです。膨大なデータから何を読み取り、精神科医療の利用者の利益に繋げていくのか、皆さんのお知恵も借りながら取り組んでいきたいと思えます。(稲川)

## KP 活動の記録 12～2月

### 12月15日(木) ゆりあす交流会

川崎市多摩区にある『社会福祉法人 SKY かわさき北部地域生活支援センターゆりあす』が実施した“ピアサポート活動を学ぶ研修会”にお招きいただき、活動紹介やゆりあすのピアの方々と交流しました。参加したメンバーからの報告です。

同じ当事者のピア活動について、お互いの活動内容を発表しました。

私以外に藤井会長とピア相談員の‘おーちゃん’が当事者として参加して、特におーちゃんの川崎は素晴らしくて、泣きそうになった、というのが印象に残りました。奥原先生もいて、「拘束を見た時に何もできなかった罪滅ぼしに人権センターでボランティアをやっている」というのも印象に残りました。

私も色々言いましたが、ピアの人のケアが課題と言いました。

守秘義務があるから、こういう事があったんだよ、と友人や家族にこぼす事が出来ません。ミニミーティングがありますが1時間くらいのミーティングに相模原からだだと足が遠のきます。ミニミーティングについて開催方法を検討中です。ボランティアさんも増えたらいいな、と思っています。

(ピア相談員 風書なおき)

### 2月2日(木) みなみ会講演

横浜市南区地域精神保健家族会みなみ会にて講演を行いました。KPの活動を紹介したり、退院請求・処遇改善請求についてのご説明なども行いました。講演したメンバーからの報告です。

当事者として主に私が発表しました。家族会の人たちは入院環境を何とかしてあげたい、という切実さに胸がつまりました。

私たちは退院しても、それがゴールでなく、その後、病状を安定させて、ゆくゆくは就労して、社会復帰を果たすというところまで、頑張らないといけません、私は就労で度々つまづき、くじいています。

家族の方は結構お歳をとっている方もいて、本来はその家族がお世話を受ける方なのに、子供の入院施設の事の話が多く、心を痛めました。

(ピア相談員 風書なおき)

### 2月7日(火) NPO 法人じんかれん講演会

神奈川県民センターで行われた NPO 法人じんかれんの研修会『KP3 年の歩み・つながりを広げるために』の講演に招かれ、KP スタッフやピア相談員が KP の活動紹介や精神医療における権利擁護の取組を発表しました。参加したメンバーからの報告です。(※NPO 法人じんかれん: 神奈川県精神保健福祉家族会連合会)

入院中に選挙があり、病院スタッフに投票に行かせて欲しいと申し出たが、病状を理由に投票させてもらえなかった。という内容の話をしました。会場の皆さんの驚きの反応から、病状を理由に投票させなかった病院スタッフの判断が間違っていたのだと確信が持てました。私は、選挙権をいただいてからただの一度も投票を逃した事のない人間でした。しかし、病院スタッフの常識も教養もない判断によって選挙権という大切な人権を踏み躪られる経験をしました。選挙権とは、国民の大切な権利であり、たとえ病状が良からうと悪からうと投票する本人が投票に行きたいと言ったら行かせるのが正しい事ではないでしょうか？精神医療の現場では、患者の人権を、医師を含めたスタッフが平気で侵害するという現実があります。精神医療の現場で仕事をする医師を含めたスタッフが常識と教養を身につけてくれる事を祈り、また願います。

KP の活動もがんばります。(ピア相談員 おーちゃん)

### 1月13日(金) 石田議員 KP・さざなみ会訪問

自民党の参議院議員・石田昌宏さんが、横浜市磯子区の KP 神奈川精神医療人権センター事務所を訪問し、KP や OUTBACK アクターズスクールのメンバーと情報交換を行いました。

精神科病院に看護師として勤務した経験もある石田さんは、KP が昨年作成した 630 調査データ本に興味を持ち、参院厚生労働委員会での質問時にそのデータを活用。KP メンバーが多く参加する OUTBACK アクターズスクールの取り組みにも興味を持ち、今回の視察につながりました。

精神科病院に勤務していた頃、演劇を活かした支援活動と出会い、患者たちがどんどん元気になる効果に驚いたという石田さんは「そのような支援は、今は無くなってしまったと思っていたのですが

OUTBACK アクターズスクールが現在行っていると知り、とても感動しました。ぜひ続けてください」と語りました。また、同席したスクール生の新ちゃんが「退院しても住める場所がない」との理由で主治医に退院を拒まれた経験を伝えると、石田さんはかつて実践した不動産会社とのマル秘交渉術などを明かし、「(精神科病院の長期入院患者にとって)住む場所の確保は最優先課題」との考えを示しました。中村マミコ校長は「メンタルヘルスの不調を抱える人は、政治家にも官僚にもたくさんいると思います。そうした人たちと演劇を通して一緒に交流できれば、精神疾患への理解が一層深まるはず」と話し、様々な業種との連携を深めたい意向を伝えました。

この日は、別件で KP 事務所に来ていた杏林大学教授の長谷川利夫さんも同席。介護現場での認知症患者への身体拘束削減に尽力した経験のある石田さんは、長谷川さんや佐藤光展編集長 & 副校長が、医療現場での身体拘束増加の現状などを伝えると驚き、「同じ認知症なのに、精神科病院に入院すると縛られてしまう状況は納得しがたい。いろいろ調べてみます」と語りました。(KP ホームページより転載)



2月15日(水)

### 精神医療人権センターネットワーク連絡会

こんにちは。KPの濱田です。2月15日に、精神医療人権センターネットワーク会議がありました。こちらは、各地のセンター(大阪、兵庫、埼玉、東京、長野、神奈川、今回より北海道も参加)がオンラインで集まり、情報共有、意見交換、勉強会などを定期的に行っている会議です。

今年度は、各センターがテーマを決めて発表をすることになり、KPは「相談ボランティアへの動画作成の経緯」についてお話をさせていただきました。

ご存知の方もいるかと思いますが、濱田はボランティア希望の方が見学にいらした時にお見せするための動画を作成中です。こちらの動画、最初はすごく難しい内容になってしまい、皆さんに見ていただきながら「初めての方に必要な情報」だけをシンプルにお伝えする動画に作り変えていきました。各センターの皆さんにも「うちにもその動画ちょうだい」と言っていました！

近日公開です。お楽しみに！(濱田)

2月16日(木)

### 『神出病院事件問題の解決を目指す緊急市民集会』

この日、精神医療サバイバーズフロント関西、兵庫県精神医療人権センター主催の集会に参加しました。吉田明彦氏らの発表およびシンポジウムと、林亜衣子弁護士からの「神出病院第三者委員会委員からの調査報告」の講演がありました。

神出病院事件を振り返り、現地調査での詳細な報告を受けました。行政、医療法の在り方などについてのご意見や課題、また今後神出病院が関連する大阪府内の法人に移籍することで、兵庫県の管轄から離れてしまい、継続的な調査や追跡の難しさが発生する問題も伺いました。改めて精神科特例の作りだす医療環境の劣化や病床至上主義の違和感、病院の風土や無知が生む恐ろしい暴力環境を洗い出しています。被害者は今も入院中で、謝罪されたかも明らかになっていません。

KPは第三者機関として、地域でどんな役割を果たしていけるだろうか、考えさせられました。

神出病院のホームページから、調査報告書(PDF)をダウンロードして読むことができます。ぜひ目を通してみてください。(三瓶)

2月24日(金)公開！

YouTube フクシのみらいデザイン研究所にてKPを特集していただきました。

2月某日、フクシのみらいデザイン研究所の和泉さんが2日間KPに密着取材。わたしたちの取組を素敵にご紹介して下さい。ぜひご覧ください！

 YouTube <https://youtu.be/DUJ47OSGmv0>

フクシのみらいデザイン研究所の最新の動画？



### お知らせ

第3回横浜精神保健福祉フォーラム NPO 横浜市精神障害者地域生活支援協議会(横浜市精連)にて佐藤光展 KP 顧問が講演『血の通った支援を実現するために～障害当事者の発信力向上プロジェクト～』を行います。『障害者を街の中、人の中で支えるために～居住支援の新たな展開～』というテーマでパネルディスカッションも行われます。ぜひお申し込み、ご参加ください。

開催日時 : 3月18日(土)13時~16時30分

開催場所 : 神奈川県地域労働文化会館にて会場参加+ZOOM 配信

参加費無料 (事前申込制)

▶申込方法 : メール [info@yokohama-shiseiren.jp](mailto:info@yokohama-shiseiren.jp) FAX045-263-8101

Peatix による申し込み <https://peatix.com/event/3499331/>

### 大熊一夫氏 講演会

！！開催決定！！

4月30日(日) 14:00~16:30  
@ウイリング横浜 121.122 研修室

参加費:1,000円

▶申込方法:メール [mail@kp-jinken.org](mailto:mail@kp-jinken.org)

詳細は今後 HP、ちらし等でご案内します。

賞

おめでとうございます！

OUTBACK アクターズスクール

公益財団法人こころのバリアフリー研究会

令和4年度第8回こころのバリアフリー

賞★★★★ 受賞★★★★

今後も発信力向上プロジェクトに  
期待です！

※公益財団法人こころのバリアフリー研究会は、精神疾患や障がいの適正な理解と予防、当事者の社会復帰と自立（リカバリー）、社会経済活動への参加、精神保健医療福祉に関する啓発を目的とした事業や活動を行っている団体です。そうした目的を達成するための活動団体を表彰しています。[www.jsbfm.jp](http://www.jsbfm.jp)

## 相談活動のご報告（R4.12月～R5.2月）



ご相談はこちらまで  
平日 13:00～16:00  
080-7295-8236

### <相談活動の集計と内訳>

	総数	電話	メール	手紙	訪問面会	所内面談	オンライン面談
12月	72件	61件	3件	0件	4件	1件	3件
1月	88件	63件	8件	3件	4件	9件	1件
2月	94件	72件	8件	0件	5件	8件	1件

### <新規相談の内訳>

	件数	本人	家族関係者	県内	県外	不明	医療	生活・福祉その他
12月	8件	3	5	5	3	0	7	1
1月	16件	12	4	9	6	1	12	4
2月	16件	9	7	12	3	1	13	3

新規ご相談では措置入院後の今後の治療や退院支援について、薬の選択や副作用について不安、入院中の身体拘束の処遇のことについて、地域生活の中での将来の不安についてなどのご相談が寄せられました。コロナ禍も少し落ち着き、ご来所での面談や面会も少しずつ増えています。

#### KP 日誌

#### ミニミーティング

ボランティア相談員を中心に相談の経過報告や対応の検討をしたり情報共有をしたりして、相談員相互のサポートのため話し合いを行っています。

12/8(木)8名 12/20(火)5名

1/18(水)5名 2/28(火)6名

★今後は、オンラインでの開催なども検討中です★

#### KP 定例会

毎月第一火曜日 18:30～@ピアーズ

現地とオンラインでハイブリット開催しております。

皆さまのご参加をお待ちしております♪

12/6 来場 16名、オンライン 10名

1/10 来場 15名、オンライン 12名

2/7 来場 19名、オンライン 13名

3/6 来場 27名、オンライン 15名

### ボランティア募集のお知らせ

わたしたちKPが大切にしていること

声をきく

精神医療にかかる方々の立場にたった権利擁護活動を実施します。

扉をひらく

精神科病院を開かれたものにする活動を行います。

仲間がささえる

精神障害当事者をはじめ多くの仲間たち(ピア)が全力でサポートします。

社会をかえる

安心してかかれる精神医療・地域社会の実現をめざします。

◎相談チーム

ボランティア相談員

・個別訪問面会  
・イベント運営

各プロジェクトにご参加ご協力してください。仲間を募集中です!!ぜひ一緒に活動してみませんか?見学も承っております。お問い合わせください♪

### 事務局より

定例会や勉強会、講演会や普及啓発活動など各種開催のご案内をご希望の方は、ご連絡ください。メーリングリストに登録させていただきます。

ホームページや Twitter でも様々に発信中です。ぜひご意見などお寄せください。気軽に事務局にもお立ち寄りください♡

会員の皆様へ年会費の納入をお願いいたします

発行：特定非営利活動法人さぎなみ会  
神奈川精神医療人権センター事務局

発行日：2023年3月8日

〒235-0023 横浜市磯子区森 3-14-3

TEL：045-353-5711

Mail：[kp.kanagawapeer@gmail.com](mailto:kp.kanagawapeer@gmail.com)

ホームページ：<http://kp-jinken.org>

♡♡ 次の発行は6月です♡♡